

会 議 録

1 会議名

第4回有田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・上源入、下源入他地区の浸水対策について（公開）
- ・有田地区統合校の進捗状況について（公開）

3 開催日時

平成25年11月26日（火）午後1時30分から午後2時44分

4 開催場所

上越市カルチャーセンター ミーティングルーム

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員： 秋山千恵子、市川 禅、大原久雄、樺沢早苗、木澤 勝、熊木敏夫、黒河 薫、澤田勝也、豊岡美恵子、中川 清、野島賢一、松田鉄男、吉川建嗣（欠席5名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：田中センター長、滝澤係長、星野主任、横尾臨時職員
下水道建設課：流石課長、名倉副課長、石澤係長
教育委員会 教育総務課：勝俣課長、鬼木参事、富田副課長、鈴木係長、星野主任

8 発言の内容

【田中センター長】

只今から平成25年度第4回有田区地域協議会を開会します。本日の出席人員は13名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数

以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。はじめに木澤会長から御挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願い致します。

【木澤会長】

みなさん、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。御苦労様です。

次第に載っておりますのは、上源入、下源入他地区の浸水対策について、それから有田地区統合校の進捗状況についてです。これは新しく統合した時の問題点ということで、この間、水害がありまして、通学路がかなり水がつくという状況がありますので、源入から流れて春日新田小学校の脇を歩いていく付近が冠水したとかって言っていました。ということは、通学に不便になるんじゃないかという問題があります。それから当然学校関係の統合校の進捗状況。その他にもう1点あるんですが、それについてはまだ検討中ですが、安江の新しい学校のところを通る道路の安全面については、道路課の関連なんです、それについては農業委員会との関連もたくさん出てきますので、26年度中に検討して、27年度から入るようにしないと間に合いませんので、その辺はこれから出てくると思いますが、まだ細かいことは出ておりませんので、今回は2点について報告いただくということでお集まりいただいた形になります。十分な話ができるのかどうか分かりませんが、我々のほうも地域協議会としても、やはりきちんと取り組んでいかなければいけない範囲だと思いますので、みなさんにも御検討いただきたいと思います。よろしくお願い致します。

【田中センター長】

ありがとうございました。

それでは同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることになります。木澤会長お願いします。

【木澤会長】

それでは会議を始めます。まず、本日の会議録の確認ですが、市川委員と樺沢委員にお願いします。

それでは報告事項の「上源入、下源入他地区の浸水対策について」下水道建設課から説明をお願いします。

【下水道建設課 流石課長】

下水道建設課長の流石です。よろしくお願い致します。はじめに本題に入ります前に、

公共下水道の今の現状について説明させていただきます。公共下水道の汚水管渠整備につきましても、合併前上越市におきまして、平成24年度までの進捗率ですが、面積ベースで56%、人口ベースで71%の進捗でございます。本年度は有田地区の三ツ橋、福田、下門前、春日新田4丁目地内等で工事を実施させていただいています。その他では八千浦地区の黒井地内、新道地区の大日地内等で汚水管渠工事を実施しております。

また浸水対策工事については、現在、御殿山雨水幹線の整備を進めております。この整備については、平成10年から事業に着手いたしまして、全体延長約2,900mのうち、平成24年度末で約2,200mが暫定の断面も含めまして完成しております。現在、飯地内の山麓線におきまして、雨水管渠工事を実施しています。冬にかけましても、市道での工事を着手する予定です。下水道工事に伴いまして、交通規制等で御迷惑をおかけしておりますが、御協力のほどよろしくお願い致します。

それでは本題の上源入、下源入他地内の浸水対策についての説明に入ります。

- 資料「上源入、下源入他地内の浸水対策について」 別紙、「上源入、下源入他地区 浸水対策案 概要図」に基づき説明 —

【木澤会長】

ありがとうございました。では、今ほど下水道建設課のほうから説明で御意見等がありますか。

【中川委員】

47mmというのはあなた方の認識が甘いんじゃないかな。今の気象条件は変わってきているよ。下門前の区画整備事業の時に、47mmなんていったら行く場所がないんだよ。最後は戸野目川と、関川のところしかないんだよ。この47mmというのは認識が甘いんじゃないかな。

もう一つ。この図面の中で、前市長が有田地区でトークをやったんだよ。私の記憶の中では上源入、下源入でイメージとして、当時の町内会長は虫食いで排水できないなど。

【木澤会長】

ただこの水路については、まだ土地改良区のものなんです。だから土地改良を終わらさないよ。

【中川委員】

今ね、自然現象だとかで、47mmなんていう概念では駄目なんだよ。

【下水道建設課 流石課長】

下源入の話なんです、戸野目川の吐口のところですかね。

【中川委員】

あの戸野目川は田んぼの水で、勝手に戸野目川という名前を付けたんだよ。

【下水道建設課 流石課長】

19年度に、排水ポンプを設置させていただいております。下源入の吐口のところに。

【中川委員】

そういうイメージがあるから、ここの③、④のところは改善してあるのかと思って。その辺の認識を聞きたいんだわ。さっき進捗率が71%って言ったでしょ。だいぶ進んでいるからさ。

【下水道建設課 流石課長】

先ほど言いました進捗率ですが、これは汚水の汚水管の話でございます。雨水については、今現在、御殿山雨水幹線工事をしておりまして、上源入、下源入の浸水工事については先ほど言いましたように、平成19年に河川海岸砂防課が排水ポンプを付けさせていただいたということです。

【中川委員】

これはポンプ対策だな。

【下水道建設課 流石課長】

今回、説明申し上げたのはポンプ対策ではなくて、既設排水路を改修しようということでございます。

【中川委員】

水は小町川に流れるのか。そこしかないもんね。

【木澤会長】

ただこれについて、上源入から先の三田、工業団地からこっちへは流れてこないことになっているんだよね。現状はね。

【下水道建設課 流石課長】

はい。

【木澤会長】

その後で色々あって。

【中川委員】

水がね、川一本だからさ。三田新田からずっと下の家はどうなるか知らないけど。

【木澤会長】

よろしいでしょうか。その後で、一番溜まったと思われるのは、下源入と上源入の堺のところ、ここは上まで水が溜まった形跡がありますが、それは区画整理がまだ始まる前で、田んぼに水を溜めなくて休耕田にしたから、水抜いていたやつが一度に来たという問題があって、大きく溜まったというのがあります。ただ、現状では区画整理で遊水池がこの前に造られてるでしょ。区画整理の分が一回溜めてから来ているという形になるので、ここはだいぶ解消されたのかな。

【黒河委員】

8年前ですね、やはり1時間に60mmの豪雨がありましたね。この赤い部分が浸水したわけですね。この時に調査に行ったことがあるんです。要するにこの先が問題なんですよ。その排水管にごみが詰まって流れなくなっているのね。だから今回どこまでそういうことをやっていただけるのか。これは、降雨量は何mmまでの許容範囲なのか、お訊ねしたいんですが。

要するに最近の降雨は40mm、50mmなんて当たり前になってきているんだよね。

【下水道建設課 流石課長】

47.6mmが上越市の下水道計画に基づく対象降雨です。47.6mmで造って溢水しないのかというと、50mmの雨が降れば溢水します。100mmの雨に対応したものを造ればいいじゃないかと言われますが、そうした場合には、例えば道路側溝が幅30cmのものがもっと大きなものになって、市民のみなさんが「何を造っているんだ」というような大きさのものになりますので、全国的な対象降雨を考慮して市では47.6mmが妥当であると考えています。

【黒河委員】

下水についてはよく市役所にお伺いに行って、色んな陳情をしたことがあります。早くやってほしいと。ちょうどその頃、私も町内会の三役をやっておりましたのでよく分かるんです。グリーンパークのところの地下の埋設タンクというか遊水池がありますが、これって何トンくらい入るんですか。

【下水道建設課 流石課長】

ちょっとそこまでは…。

【黒河委員】

いいです。問題はそれから先なんですよ。

【木澤会長】

それではもう一回聞きたいんですが、この①の内側の改良ですか、これについては、そこから下については複断面になっていて、ここも複断面のままの改修ですか。

【下水道建設課 流石課長】

複断面のままの改修になります。

【木澤会長】

そうするとここに水を溜める能力はないってことだね。全断面ならその分かなり溜まるけど。

【下水道建設課 流石課長】

全断面を拓げるという考え方はしていません。

【木澤会長】

一番下と併せた複断面の形で、松村の終わりまで来るという形です。

【黒河委員】

例えば、増水してきますよね。側溝の色んなごみがどんどん下へ流れていきます。それはどうやって除去するんですか。それを取らないことには詰まっちゃいますよね。それは市のほうのお仕事でしたっけ。

【下水道建設課 流石課長】

今回、①と②で改修しようとしている水路については、今現在、関川土地改良区の管理になっておりまして、本来であるならば土地改良区または地元の方にお問い合わせするという形になるかと思えます。

一般論を申し上げれば、市の管理する水路についても、小さなもの、簡単に取れるものについては、申し訳ないですが地元の方から御協力をお願いしたいと。本当に大掛かりなものについては、市のほうで対応していくという形になると思えますので、御協力をお願いします。

【木澤会長】

いずれにしても、みなさんに御説明をいただいているのは、新しい学校に行くときに、子どもたちが通る道路の冠水は困るわけです。少しでも解消されればということでのお話で今回御説明を願っている形になります。土地改良区との関連もありますので、

なかなかスムーズにいかないのが現状だと思います。

熊木委員、何かありますか。

【熊木委員】

私のほうは、土地改良区との話を早急にやってもらいたいというのは、次の問題で新設校の話がありますので、新しい場所に対してこの松村から用水路の既存の排水に使っている線が、そっちに向かっているんです。堤防に沿って。三田新田の地内から。上源入の用水池みたいのがありますよね。堤防際から橋の下を通過して、新設校の南側に用水線が引かれていて水が上がっているんです。三田新田のほうからずっと下りてくるんですね。それが今まで松村とか春日新田小学校に水を供給していた枝の部分なんです。それが今度新設校になった場合、そこが排水路というか同じ線なんです。

【下水道建設課 流石課長】

統合校の件ですかね。そこまでは私どもはちょっと把握しておりません。

【熊木委員】

先に土地改良区と話さないと、いわゆる橋の下の線をどうするか。新設の予定地では、その線を使う予定だと私らは思っているんですけど。

【下水道建設課 流石課長】

すみません。統合校の話は私どもでは答えられないので、次に控えておりますので、その時にお話してください。

【熊木委員】

統合校の話ではないんだけど、下水道建設課として地域の排水路として切り替わるわけですよ。農業用の用水とか、排水路ってのは。

【下水道建設課 流石課長】

今言われたのは、例えば今まで農業用の排水路として使われていたものが、農業用の排水路としての機能がなくなっているんで、それを順次市のほうに移管していくかというお話ですね。そのことについては、今、土地改良区と詰めていこうとしているところです。

【熊木委員】

早めに話していただきたいというのはあるんですよ。

【松田委員】

申し訳ないんですけど、市のほうでは47.6mmの時間雨量ということなんですけど、

今現在パイプの径を決めている面積って、何平方メートルに対して400mmのパイプで設計したんですか。それによって今の学校の区域が入るのか。それが出てくるわけですよ。パイプの径を決めるということは、降水量が40何mmであれば面積が出てくるんですよ。面積の基準を出さないと出ないでしょ。

【下水道建設課 流石課長】

47.6mmですが、その目標でいくと非常に水路自体が大きくなって、事業費が高くなるということで、今回は32mmで計画をさせていただいています。

【松田委員】

32mmでもいいのさ。この地図ではその対象面積がどこからどこまでなんですか。

【熊木委員】

三田との堺から、農業用水を切ったところからだわ。

【木澤会長】

かなり問題がそれぞれあると思いますけれども、私どもが今日御説明いただいているのは、通学路の冠水の問題が中心になっておりますので、あと一つだけ質問があれば受けます。

【中川委員】

木澤会長じゃないが、到着点は新設校の子どもたちに迷惑をかけないようにということだ。だから30年までには完成できるんだろう。

【下水道建設課 流石課長】

あくまでも浸水対策として平成26年度以降に実施していく予定であり、それまでにということについては何とも言えないです。

【木澤会長】

とりあえずこの問題についてはこれで。

【松田委員】

とりあえず面積だけ聞きたいのですが。

【木澤会長】

面積なんて計算できないだろう。

【下水道建設課 流石課長】

またこちらから面積のほうをお知らせするというところでよろしいですか。

【木澤会長】

それでは終わりにしますので。ありがとうございました。

— 下水道建設課退席 —

それでは引き続いて、有田区統合校の進捗状況について、教育総務課お願いします。

【教育総務課 勝俣課長】

みなさん、ごめんください。教育総務課の勝俣といいます。よろしくお願いします。

前回、1月28日だと思いますが、この会で説明させていただきました。その後、各町内会長さんたちから市のほうへ要望書を提出いただいて、3月25日付けで市から回答させていただいております。新設校の建設に向けて進めております。その後の取り組みについて説明させていただいて、併せて基本設計の原案を示させていただいて、御理解いただきたいと思います。

【教育総務課 鬼木参事】

教育総務課、参事の鬼木です。よろしくお願いします。

まず私のほうから、有田地区統合新設校の大まかなスケジュールについてお話させていただきます。今、課長からお話がありましたように、平成25年2月に有田地区の町内会長協議会のほうから「有田地区の小学校の適正配置に関する要望書」が出されまして、それを受けて同年3月25日に市長名、教育長名で「有田地区の小学校の適正配置における回答書」を提出したところです。その回答の①としては、学区の見直しと小学校の新設が盛り込まれております。お手元に位置図がありますが、春日新田小学校の学区を国道8号線で概ね二分して、北側の児童はこれまでどおり、現在の春日新田小学校に通学することとして、南側の地域は現在の小猿屋小学校の学区と併せて新しい学区とする。そして児童の通学の時間を配慮して、新しい学区の中央部、番地で言いますと安江になりますが、国道8号線から約1キロ離れたところに新しい新設校を設立することになっております。位置図の裏には詳細な地図が載っています。地図のように三角形のような形をしたところになりますが、戸野目川沿い、山崎サービスさんの隣、上源入ふれあい公園の隣という形になります。新設校の設計等については、この後、担当者から説明させていただきます。それではA3の資料に基づき私のほうでスケジュールについて説明させていただきます。

— 資料「有田地区統合校開校までのスケジュール」に基づき説明 —

それではこの後、校舎の基本設計について、担当から説明させていただきます。

【木澤会長】

その前に、これについて何か質問があるか聞きます。

【中川委員】

事業計画といっても、校地や建物が何階建てか全然分からないからさ。

【教育総務課 鬼木参事】

それはこの後、説明致します。

【木澤会長】

後援会組織の設立となっておりますが、有田地区は小学校の後援会は一本立てになっているので、一つの中で両方をやっている形になっています。

【教育総務課 鬼木参事】

そこは文言を修正させていただきたいと思います。「後援会組織の活動内容作成」などと表現させていただきます。

【木澤会長】

そうだね。有田地区の場合は二つの学校を合わせての後援会という、ちょっと違う形式になっています。

【教育総務課 鬼木参事】

分かりました。

【教育総務課 勝俣課長】

新設については、小猿屋小学校に入りきれないので移転させていただいて建てると言っていますので、小猿屋小学校を引き継ぐという形です。ただ校名や校歌、校章については別途みなさんで協議しましょうということです。

【中川委員】

具体的に。その伝統って何だ。

【教育総務課 勝俣課長】

色んな書面とかありますよね。

【中川委員】

そういうのか。

【教育総務課 勝俣課長】

学校の歴史であったりとか。

【中川委員】

そういったペーパー上のことだったら、それはそれで分かった。

【木澤会長】

一番問題は後援会組織よりも同窓会組織のほうが問題が起きるので、後援会組織のほうはそう気にされなくても動いていくんじゃないかと思います。

他に御質問があれば受けます。なければ図面のほうの説明に入ります。

【教育総務課 富田副課長】

それでは説明させていただきます。教育総務課の富田です。よろしくお願ひします。先ほど学校の配置図の二枚目にありますA4のほうを開いてください。

— 資料「位置図」 —

これが今現在の新設校の基本プランになります。11月19日に春日新田小学校にお邪魔しました。それはなぜかという、来年度1年生となる児童の就学時健診がございましたので、保護者の方が140人ほど集まっているところにお邪魔して、このプランを説明してまいりました。今日はこちらにお邪魔していますが、本日、夕方7時から春日新田小学校にお邪魔して保護者の方に説明します。続いて28日に小猿屋小学校で説明をいたしまして、設計について色んな意見を聞くこととしております。今現在、春日新田小学校と小猿屋小学校の先生方に、このプランを持ち出し禁止でみなさんに検討していただいています。色んな意見をお聞かせ願って、このプランをまとめていきたいと考えています。このプランは3月までにまとめます。来年度は実施設計に入りまして、27年度早々に用地買収をして、3年間で建設工事をし、平成30年の4月に開校するという大きな目標に向かって進みだしております。安江の建設地では、11月21日に入札がありまして、建物の位置が概ね決まりましたので、地質調査に入りました。支持層までの確認のため60mくらい掘ります。地権者の了解を得ておりますので、また御迷惑をかけますが1か月半くらい現場でボーリングをしますので、よろしくお願ひします。私からは以上です。

【木澤会長】

ありがとうございました。なかなか御理解するのが大変だと思いますが、体育館は春日新田小学校と大体同じくらいの大きさだと判断願えればと思います。

【教育総務課 勝俣課長】

基本設計案ができましたので、28日に木田庁舎の関係各課から集まっていただいて、道路の話とか下水道の話を含めて説明する予定でおりますので、よろしくお願い致します。

【中川委員】

今の春日新田小学校と対比するイメージを持ちたいんだけどさ、これは何坪くらいだ。坪でいうと。

【教育総務課 富田副課長】

春日新田小学校は体育館が新しくなって、今現在、一番北側の旧棟は方策を立てています。平成30年で統合がされますと、一番南側の校舎を解体します。そうしますと概ね一緒くらいになります。

【教育総務課 勝俣課長】

春日新田小学校は2万5,000平方メートルございます。新設校は、併せても2万2,300平方メートルです。

【中川委員】

大工さんの金はいくらだ。大体。入札の話が出てきたから。

【教育総務課 富田副課長】

それは、今、詰めています。基本の骨子がまとまってきますと、次に概算工事費というのが出ますので。

【中川委員】

何10億円になるかなと思って見ていたんだ。

【黒河委員】

工法はRC工法ですか。

【教育総務課 富田副課長】

鉄筋コンクリート造です。体育館はSRC造です。

【木澤会長】

ただ基本的には、今ほど言ったように、体育館周りとかグラウンドを抜かして道路との関連はどうなっていますか。

【教育総務課 富田副課長】

大雨の時の浸水ハザードマップといますか、水はけが悪い地域と理解しています。

いわゆる戸野目川のゲートの脆弱があります。なので、校舎の建っている部分については盛土をして仕上げます。グラウンドは道路より若干低くして、先ほど下水道建設課の説明の中で、戸野目川の洪水設計基準年が7年というお話があったと思うんですけど、私どもはその制約をこれから受けていくんです。開発協議をする中で、今現状の水田に7年確率の雨が降って、今の状況と開発後の状況で1mmたりとも増えないようにするんです。ということは、グラウンドを調整機能も果たせるということを選ばざるを得ません。洪水調整池は造れませんので、グラウンドに一時冠水させます。

【松田委員】

そんなことをしたら、今の民地よりも低くしなければいけない。

【教育総務課 富田副課長】

当然、防波堤に盛り土をするんです。それがこれからの設計なんです。それはまだプランが完全にまとまっていないので、次のステップです。

【松田委員】

雨が降ったら、外へ出られない。

【木澤会長】

それは東中も一緒です。仕方がない。

【教育総務課 富田副課長】

結局、地域の方々もここに避難されてくることも想定して、体育館をピロティ方式にしてどんどん上へ上がれるようにしてあるので、そこは御理解いただいて。

ただこの2万2,000平方メートルの中で、開発上、今まで以上に雨の水を出すことはできないので、色々な工夫をしなければならないことだけは御理解いただきたいと思います。最悪の場合、グラウンドの一部を冠水させるという計画になるかもしれません。今のところはそのくらいです。

【野島委員】

はい、分かりました。

【木澤会長】

他にありますか。水の問題ってのは、熊木委員も言ったようにちょっとあるので、熊木委員のほうで農家組合の関係もやっておられますので。

それからもう一つ、この学校の今の図面でいきますと、歩道がいわゆる道路の東側にずっと造る形になっていまして、その前の道路の他の場所との兼ね合いが出てくるのも。

やっぱりこれより仕方ないですね。

【熊木委員】

やっぱり東側なんでしょうけど、障害が多いことは確かです。橋くらいはどうか、歩道に移せばいいだけだけど、問題は墓とかね。7基くらいあるかな。

【中川委員】

バスに乗れる子どもは、通学距離が2kmだったかね。

【教育総務課 勝俣課長】

一番遠いところで3.2kmです。

【秋山副会長】

どこから乗れるかです。

【教育総務課 勝俣課長】

それは距離になるんですけど、今の小猿屋学区の三ツ橋新田です。

【中川委員】

いやいや、学校までの距離で2kmか。

【教育総務課 勝俣課長】

一番遠いところで3.2kmです。

【木澤会長】

ただ学校の検討委員会に出ているのは、距離の他に時間という問題もある。自転車で通おうが何で通おうが、小猿屋についてはバスということをお願い申し上げています。それからもう一つは、バスでないと途中の防犯設備とかの問題もあるので、道路が完全に終わるまではバスで通学したほうが安全性が高いということです。道路の切れ方もあるんですけどね。三ツ橋から来る道路が早くできれば問題ないんだけど。

【中川委員】

見積りはいつ頃わかりますか。

【教育総務課 富田副課長】

2月の終わりくらいです。ただ、あくまでも概算なので。

【中川委員】

概算でいいんだ。まだ概算だろう。

【木澤会長】

よろしいでしょうかね。まだ設計の途中ですので。

【黒河委員】

これからだと思いますが、冬になった時に通学する時は雪ですね。その辺は今後詰めていかれるわけですか。道の狭いところもあるし。

【教育総務課 富田副課長】

先ほど紹介がありましたように、庁内の関係課に集まってもらって、当然私たちは道路課に歩道の話をして、改善を求めます。その時に雪の話も出ますし、色んな意見をいただきます。

【木澤会長】

よろしいでしょうか。

(よしの声あり)

では、どうもありがとうございました。またそれぞれで問題が出てくるとは思いますが、お願いします。ありがとうございました。

— 教育総務課退席 —

それでは報告事項が終わりましたので、その他に入りたいと思います。事務局から次回の会議について、お願いします。

【滝澤係長】

次回の協議会ですが、今のところ諮問等の案件は挙がっておりません。また会長と相談させていただきながら、日程が決まりましたら御連絡させていただくような形になります。

【木澤会長】

それから12月15日の地域活動フォーラムの出欠は、みなさんどの程度出ていますか。

【滝澤係長】

12月15日に地域活動フォーラムということで御案内させていただいております。既に出欠の連絡を何名かいただいておりますが、まだ連絡をいただいていない方については、12月5日まで締め切りとなっておりますので、事務局まで連絡をいただきたいと思います。

【木澤会長】

分かりました。それではその他で事務局何か説明はありますか。

【滝澤係長】

ありません。

【木澤会長】

それでは以上をもちまして、本日の会議を終了します。どうも御苦勞様でした。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。